エコけんニュース

No. 35　2002. 6.

連絡先　NPO法人エコけん事務局　☎ 092-943-0129　発行責任者　清水佳香

プラスチック回収は 7/14（日）

9/8（日）＊第2日曜日

舞の里1丁目集会所　8:30～10:00

舞の里小学校玄関前　9:00～11:00

※　雨天：集会所内、舞小体育館にて回収。

内容物を取り出して、水気を切って持ってきて下さい。

6月9日（日）プラスチック回収報告

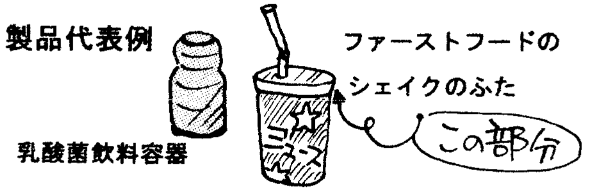
ご協力ありがとうございました。

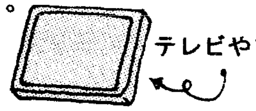
参加世帯数						回収量	カンパ
288						90ふくろ（794. 5kg）	21,300 円
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	その他		
94世帯	25世帯	20世帯	45世帯	69世帯	35世帯		

事務局に寄せられた質問にお答えします

Q. 新日鉄で処理されたプラスチックのうち、私たちの生活にはどのような製品になって返ってきているのですか？

A. 新日鉄グループ会社にて処理後回収された軽質油から、プラスチック原材料であるポリスチレン等を製造し、さらにそれらの原材料をもとにプラスチック製品等の製造をされているそうです。





原材料である樹脂ペレット等のサンプルをいただきました。プラ回収会場に置いています。どうぞ手にとってご覧下さい。

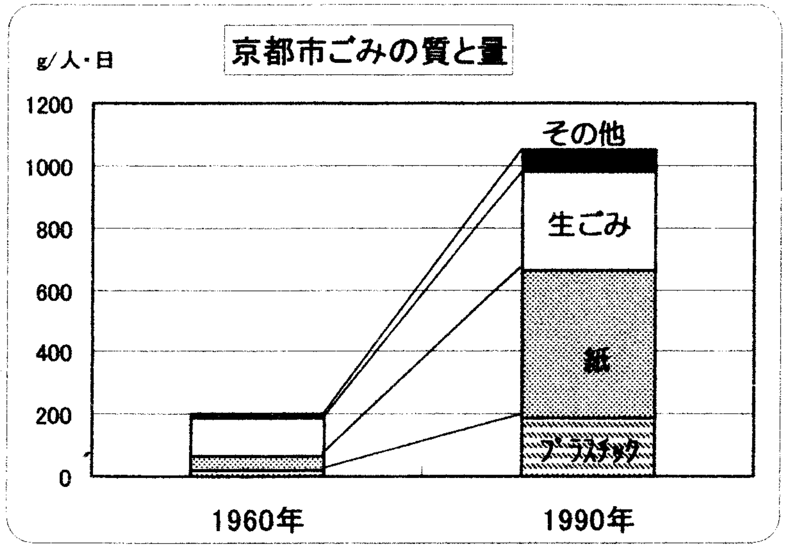
続・焼却の歴史

プラスチックごみや紙ごみは、30年間で10倍！

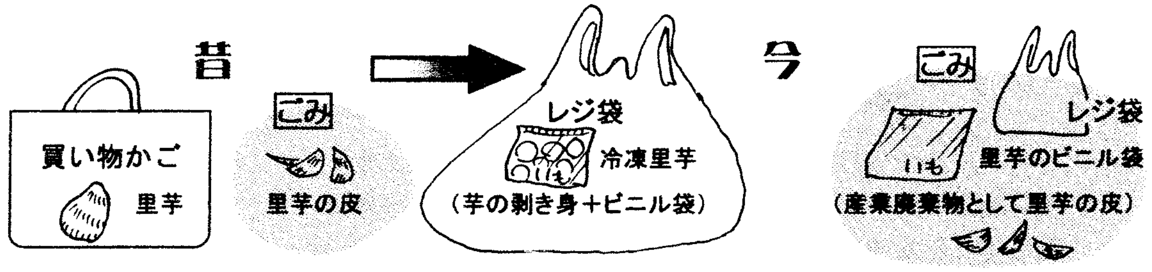
そこで採れたものをそこで食べる、という『地産地消』が可能だった古賀市とは対照的に、都市部では早くからごみの収集が始まっていました。生ごみを有効利用できる環境ではないので、放置すると不衛生になってしまうからです。

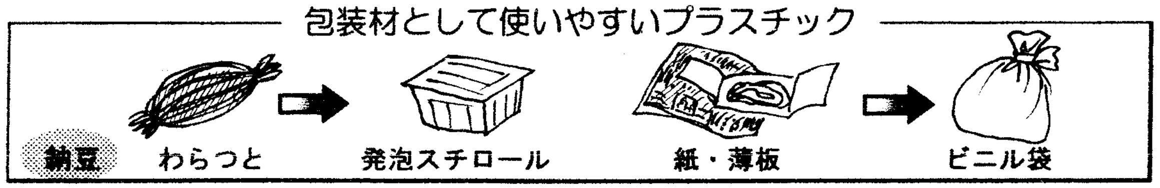
衛生面から始まった焼却でしたが、現在は、紙やプラスチックなど腐敗しない素材も減容（かさを減らすこと）のために焼却しています。

京都市に残された貴重なデータによると、ひとり当たりのプラスチックや紙の量が１０倍になっていることがわかります。



ごみがこんなにも変化する以前の生活を幾人かの方にお聞きしてみて、私たちの生活そのもの変化を改めて感じました。





ところが、調べていくうちに『私たちの生活そのもの変化』は、ごみだけに影響が出ているわけではない、ということがわかってきました。

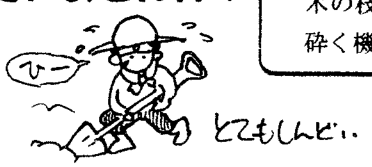
次号にさらに続きます。

ガーデンシュレッダー使ってみました！

ガーデンシュレッダー

木の枝や葉を細かく砕く機械

緑の冴え渡る季節、剪定枝で困っていませんか？



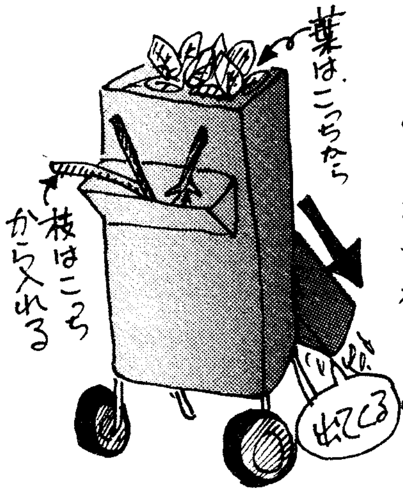
剪定枝の一般的な処理は、

① **庭に埋める。**（重労働。）

② **コンポストに入れる。**（入りきれない。）

③ **ごみに出す。**（10袋ほど必要で不経済。袋に入るよう、切りつめるのがめんどう。）

そこでケチでめんどくさがりの私は『庭の隅にほっぽっておく』という暴挙に出ました。すると、いつまで経っても堆肥になるどころか、かさも減りません。そのくせ虫は出ます。そんなおり、会員所有の「ガーデンシュレッダーをみんなで使ってみないか。」とお誘いを受け、体験してみました。



シュレッダーの連続運転は、２０分程度。騒音があります。（電動草刈り機程度の音量）乾燥して堅くなった枝は、砕くことが難しく、大量に入れると、詰まったりします。

慣れてくるとうまく処理できるようになりました。木の香りがすがすがしい、市販されているバークのようなできあがりです。これは埋めなくても、そのまま蒔けます。土のことを考えると、良い処理方法でしょう。

シュレッダーは、安くはありません。そうたびたび使うものではないので、簡単には購入できませんが、選択肢のひとつとしての価値はありそうでした。

剪定枝や草から取れた「森の土」

エコけんで受け入れた剪定枝や草からできた腐葉土を、土に造脂の深い方に見て頂きました。評価は上々。一緒に見てくれた友達が「わー、森の土みたい。」とほめてくれました。それ以来、エコけん産の腐葉土は「森の土」と命名。フリマでもお譲りする予定です。プラ回のついでにぜひのぞいてみてください。

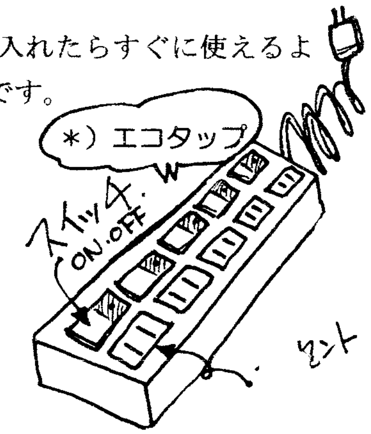
投入登録の方へご連絡します。投入の方法が少し変わりました。今までのように、剪定ボックスに直接ではなく、中にある大きな袋の中に入れてください。米ぬかは今まで通り、まぶしてください。よろしくお願いします。

新規登録ご希望の方も、ご連絡お待ちしています。剪定枝を「森の土」にしてみませんか。

エネナビくん日記

家庭の待機時消費電力が全体の10％弱にもなると聞いたので、わが家の電気製品を見直してみました。

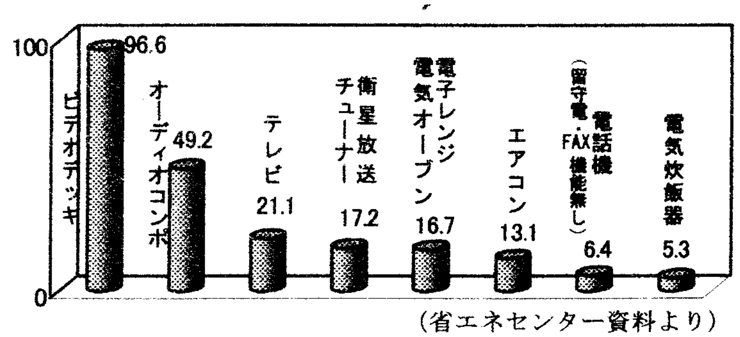
待機電力とは、本来の目的で使用していないのに、スイッチを入れたらすぐに使えるようにスタンバイの状態にしておくためにわずかに流れている電気です。



電子レンジ、炊飯器、洗濯機、ステレオなど使っていなくても、時間が表示されていればもちろん電気が流れていますが、テレビの主電源を切った状態でもコンセントにつないでいれば、わずかながら電気を使っていました。意外だったのは、エアコンです。夏と冬以外の使わない時期もコンセントにつないだままだと待機電力を消費していたのです。

早速、家中のプラグを抜いて回りました。テレビとステレオは、家族全員が頻繁に使うので、エコタップ*）を買ってスイッチひとつで簡単に操作できるようになりました。

機器別待機時消費電力量（kWh/年・世帯）



（省エネセンター資料より）

待機電力を消費している電気製品は多いので、それぞれは微量でも合わせると、わが家の場合、１年間で約250kWh（１ヶ月分弱の電気使用量）にもなります。

待機電力を無くせば、節約できて、省エネ効果もあり一石二鳥です。

スマートライフおばさん

～事務局より～

❖ エコけんフリマに制服等のご寄付ありがとうございました。必要な方にリユースしてもらっています。
その他、いろんなものを格安でお譲りしています。プラ回収のついでにエコけんフリマもどうぞ覗いてみて下さい。